



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2022 年 1 月号

- 新年のご挨拶
- 褥瘡対策における栄養療法の大切さを実感！
ほか

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年も相変わりをせず宜しくお願い申し上げます。

中国武漢に端を発した COVID-19 がパンデミックを引き起こしてから早や2年が経過しました。ワクチンのおかげもあって昨年後半には収束しつつありましたが、南アフリカで発見されたオミクロン株があつという間にヨーロッパを席卷し、さらに世界中に伝播しました。四方を海に囲まれた我が国でも増加の一途を辿っており、沖縄では医療従事者の感染が深刻になっています。しかし、重症者は今のところ少なく、さらに経口治療薬が使えるようになりつつあるのがありがたいです。今年の干支である寅（とら）は成長、発育、誕生、春の象徴だそうで、皆で一段と成長し、コロナ禍からの脱却という春を迎えられる年になればと期待しています。当院もその一助となるよう努力してまいりますので、本年もご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



特定医療法人光寿会 理事長
江尻一成

明けましておめでとうございます。昨年の後半にようやく収束の気配を見せていた新型コロナウイルス問題ですが、感染力の強いオミクロン株の出現と第6波の到来により、予断を許さない状況となっております。ただ、オミクロン株は重症化率が低いと言われておりますし、治療薬も登場してきております。今年こそはぜひとも収束し、感染症の分類も2類から5類になってほしいところです。当院におきましては、これまでクラスターを発生させることなく経過しておりますが、長きにわたる面会禁止で入院患者さまやご家族につらい思いをさせてしまっており、スタッフ一同心を痛めております。安全・安心を第一にしながらですが、今年は制限緩和に取り組む所存です。

今年は5月に兵庫県立はりま姫路総合医療センターが開院され、姫路の医療地図が新しくなります。当院に求められる役割も変化することが予想され、きちんと適応していきたいと思っております。特に、病院単位ではなく地域完結型を意識し、地域医療連携が一層強化されるよう頑張ってまいります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



城陽江尻病院 院長
小川隆義



褥瘡対策における栄養療法の実感を！

褥瘡のリスクファクターには以下のようなものが挙げられます。

褥瘡のリスクファクター

- 基本的動作能力の低下（寝返りが打てない etc.）
- 病的骨突出
- 関節拘縮
- 浮腫
- 皮膚の湿潤（摩擦力が上がる）
- **低栄養**

褥瘡ができる仕組みは「皮膚などに圧迫やずれが加わり、血流が途絶え、組織が壊死する」ですので、きずの処置に加えて、寝返りが打てないことや、骨突出、関節拘縮、皮膚の湿潤への対策に傾倒しがちです。しかしながら、高齢者の褥瘡発生における最大のリスクファクターは低栄養とされており、褥瘡の予防にも治療にも栄養療法が不可欠です。

当院の褥瘡対策チームには、2002 年の発足当初から、医師・看護師に加えて薬剤師と管理栄養士が参加しています。2005 年には栄養サポートチーム（NST）が発足されましたが、分離することなく、連携という形で毎週の褥瘡回診やその後のカンファレンスに参加し続けています。その甲斐あってか、きずの処置や圧迫・ずれ対策だけではなかなか治っていかなかった褥瘡が、栄養状態の改善とともにみるみる治っていく、というケースを多く見かけており、栄養療法の実感をしています。

栄養状態の維持・改善には 5 大栄養素を必要十分に摂取していただくというのが大切で、当院でも意識しております。また近年は、亜鉛やビタミン C、L-カルノシン、コラーゲンペプチドなど、褥瘡の治癒や予防に有効とされる栄養素に関する新しい研究成果が報告されており、注目するようにしています。当院の褥瘡対策チームは、引き続き栄養サポートチームと連携し、栄養療法をしっかりと意識して診療にあたっていきたいと考えています（写真）。

褥瘡の治癒や予防に関わる栄養素

- エネルギー
- 水分
- 蛋白質
- カルシウム、鉄、亜鉛、銅
- ビタミン A・C
- L-カルノシン
- コラーゲンペプチド



写真：褥瘡対策チーム&栄養サポートチーム（一部）

心肺蘇生研修、感染対策研修



(左上) 2021 年 10 月 15 日、心肺蘇生研修を行いました。院内のどこでいつ起こっても、多くのスタッフが対応できるよう、事務員にも参加してもらっています。
(右上、左下、右下) 2021 年 11 月 25 日、感染対策研修を行いました。感染対策を続けてくれているみんなに向けて、感染対策委員から感謝を伝える動画が盛り込まれていて、とてもほっこりしました。

永年勤続表彰



毎年恒例の永年勤続表彰式が、2021 年 12 月 21 日に行われました。長年のご貢献に感謝し、表彰状と記念品が渡されました。

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

➡ **079-225-1231**（地域連携課）にお電話ください。担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・サーモグラフィー・マンモグラフィーのご依頼

➡ **079-225-1231**（放射線課）にお電話ください。

※ 受付時間は 8:30 ～ 19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

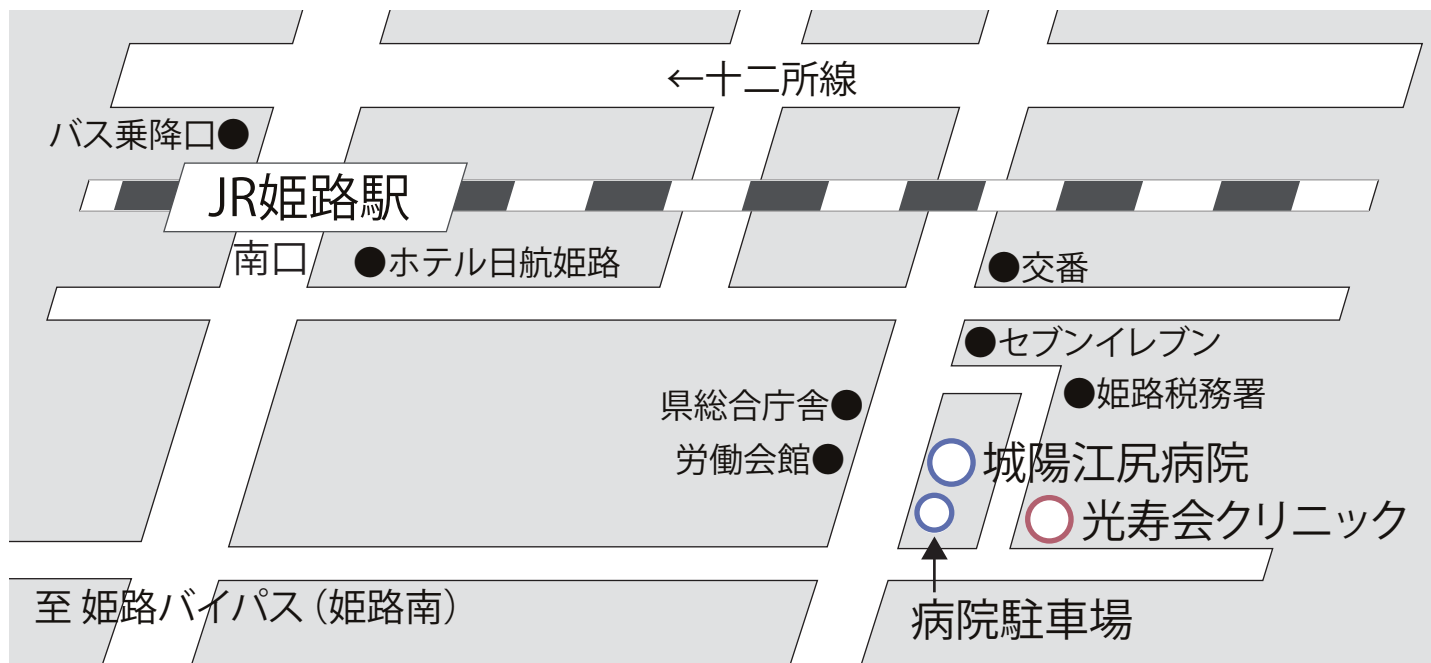
※ そのほかのお問い合わせは **079-225-1231**（地域連携課）にお電話ください。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279
 ホームページ：www.ejirihospital.or.jp 代表 Tel：079-225-1231
 Fax：079-222-0154



EJIRI HOSPITAL
 城陽江尻病院